

# プラットフォーム管理 GUI

- 管理について (1ページ)
- ・バンドルについて (1ページ)
- ・バンドル機能 (2ページ)

## 管理について

Cisco DNA Center プラットフォーム GUI には、次の機能にアクセスできる [Manage] ドロップ ダウン メニュー オプションがあります。

[Bundles]: Cisco DNA Center を独自のアプリケーションと統合するために使用できる、または Cisco DNA Center 自体のパフォーマンスを高めるために使用できるバンドルにアクセスします。バンドルは、API、DNA イベント、統合フロー、データサービス、またはアプリケーションのグループ化で構成されます。



- (注) Cisco DNA Center プラットフォーム GUI を使用して、[Platform]>
   [Developer Toolkit]>[API] または [Platform]>[Developer Toolkit]>
   [ntegration Flows] をクリックすると、バンドルコンポーネント(API および統合フロー)を表示できます。
- [Configurations]:カスタムプラットフォームエクスペリエンスを実現するために、単一の バンドルまたは複数のバンドルに及ぶグローバル設定を設定するウィンドウにアクセスし ます。

# バンドルについて

Cisco DNA Center プラットフォームは、Cisco DNA Center をユーザ独自のアプリケーションと 統合したり、Cisco DNA Center 自体のパフォーマンスを向上させたりするために使用できるバ ンドルへのアクセスを提供します。

GUI を使用して、Cisco DNA Center プラットフォームの次の情報にアクセスできます。

- •バンドル名、ベンダー、バージョン、バージョンリリース日、およびタグ
- •バンドルのステータス:
  - [NEW]: Cisco DNA Center プラットフォームで利用可能であるものの、まだ有効になっていないバンドル。[Enable] ボタンをクリックして、設定とその後のアクティブ化のためにバンドルを有効にしてください。
  - [ENABLE]: 有効になっているものの、まだ設定されていないバンドル。有効になっているバンドルの統合フローと API コードは、[Contents] タブで確認できます。
     [Configure] ボタンをクリックして、バンドルレベルで設定します。

通常、ビジネスマネージャがビジネス上の意思決定として特定のバンドルを有効にす るため、バンドルの有効化と設定は2つの個別の手順になります。バンドルの後続の 設定は、通常、IT 管理者またはネットワーク管理者によって行われます。

- •[DISABLED]: バンドルの以後の実行が停止されています。
- [ACTIVE]:バンドルの確認や設定(バンドル固有値の設定)の後に、[Activate]ボタ ンをクリックしてネットワーク内のバンドルをアクティブにしてください。
- •[UPDATE]:あるバージョンの Cisco DNA Center プラットフォームをより新しいバー ジョンの Cisco DNA Center プラットフォームにアップグレードしています。
- •[ERROR]:バンドルに問題があり、ネットワーク内でアクティブ化できません。
- バンドルの説明。
- •バンドルの [Enable]、[Disable]、または [Configure] ボタン。

# バンドル機能

Cisco DNA Center GUI の [Bundles] ウィンドウを使用して、バンドルの確認、有効化、および 設定をすることができます。 図 1: Cisco DNA Center プラットフォーム [Bundles] ウィンドウ

Cisco DNA Center DESIGN	POLICY PROVIS	ION ASSURANCE PLATFORM	<u>م</u>	Ш	¢	0	1
Overview Manage ~ Develope	er Toolkit 🗸 🛛 Runt	ime Dashboard					
Bundles							
Ŷ Filter				EQ Fin	d		
Bundle 🔺	Status	Description					
Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization Caco Systems, Inc. v1.0.15   DNAC 12.5 + Version Dated May 31, 2019	NEW	You can schedule a synchronization or trigger an update between the DNA Center device inventory and your ITSM(ServiceNow) configuration management database(CMDB). These activities integrate DNA Center processes into the IT System Management processes of incident, change and problem management. Note: If your network devices			Er	able	
DNA Center REST API Ceso Systems, Inc. v1.0.48   DNAC 12.5 + Version Dated Jun 21, 2019	ACTIVE	This bundle contains the REST API supported by Clsco DNA Center. These REST APIs provide a rich set of capabilities, including the ability to discover network devices, query network health and provision network devices.					
Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow) Csoc Systems, Inc. v1.0.21   DNAC 1.2.5 +	NEW	You can use this bundle to monitor your network for assurance and maintenance issues, and then publish the event details about these issues to an ITSM(ServiceNow) system. This bundle also contains APIs that extract rich network context data. Please note that, if your network devices have not yet been synchronized between			Er	able	
		Showing 5 of 5					

GUI でバンドルにアクセスして、次の1つ以上のタスクを実行します。

- ・サポートされている Cisco DNA Center API を確認し、試してください。詳細については、 API での作業を参照してください。
- ServiceNowのイベントを受信するには、宛先(イベント管理または REST API エンドポイント)を設定します。GUIを使用して宛先を設定する方法の詳細については、バンドルの設定:イベントを受信する宛先(3ページ)を参照してください。
- Cisco DNA Center から ServiceNow へのアクセス設定(ホスト名、ユーザ名、パスワード など)を設定します。GUIを使用して ServiceNow へのアクセス設定を設定する方法の詳 細については、バンドルの設定: ServiceNow のアクセス設定(7ページ)を参照してく ださい。
- Cisco DNA Center と ServiceNow の間のデータ同期設定(動作や送信元の識別子を設定するオプションなど)を設定します。GUIを使用してデータ同期を設定する方法の詳細については、バンドルの設定: ServiceNowの CMDB データ同期(11ページ)を参照してください。

### バンドルの設定:イベントを受信する宛先

ServiceNowのイベント(ネットワークおよびSWIM)を受信するようにバンドル内の宛先を設 定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUIの [Bundles] ウィンドウを使用し て、バンドルの確認、有効化、および設定をすることができます。 図 2: Cisco DNA Center プラットフォーム [Bundles] ウィンドウ

Overviev	w Manage V Developer To	oolkit ~ Run	time Dashboard					
Bundle	S							
Filter				Ξ	EQ Fir	id		
undle 🔺		Status	Description					
N	Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow) Cisco Systems, Inc. v1.0.21   DNAC 1.2.5 * Version Dated Jun 21, 2019	NEW	You can use this bundle to monitor your network for assurance and maintenance issues, and then publish the event details about these issues to an ITSM(ServiceNow) system. This bundle also contains APIs that extract rich network context data. Please note that, if your network devices have not yet been synchronized between				Enable	
S	SWIM Events for ITSM (ServiceNow) Cisco Systems, Inc. v1.0.4   DNAC 1.2.5 + Version Dated Jun 21, 2019	NEW	You can use this bundle to monitor and publish events that require software image updates for compliance, security or any other operational triggers, to an ITSM(ServiceNow) system. Please note that, if your network devices have not been synchronized between DNA Center and the ITSM(ServiceNow CMDB) system, then activate the				Enable	
s	SWIM Events for REST API Endpoint Cisco Systems, Inc. v1.0.4   DNAC 1.2.5 + Version Dated Jun 21, 2019	DISABLED	You can use this bundle to monitor and publish events that require software image updates for compliance, security or any other operational triggers, to any REST API end-point system, as well as to receive updates about the event and its associated artifacts[incident, problem or request for change] and populates the Runtime				Enable	1

このリリースでは、次のバンドルを使用して ServiceNow のイベントを受信するように宛先を 設定します。

- [Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)]
- [SWIM Events for ITSM (ServiceNow)]

#### 始める前に

Cisco DNA Center リリース GA 1.3.3.0 へのインストールまたはアップグレードが完了している ことを確認します。最新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『*Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide*』を参照してください。

Cisco DNA Center を ServiceNow 統合に設定する際のより大きなワークフローにおけるこの手順の位置付けを理解するには、「Cisco DNA Center End-User Guides」Webページで最新の『Cisco DNA Center ITSM Integration Guide』を参照してください。

- **ステップ1** Cisco DNA Center のホームページで、[Platform] > [Manage] > [Bundles] の順にクリックします。
- **ステップ2** 表示されたバンドルとその現在のステータスを確認します。

このリリースでは、次のバンドルを使用できます。

• [Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization]: Cisco DNA Center のデバイスと ServiceNow<sup>®</sup> CMDB システムの間の同期をトリガーまたはスケジュールします。ServiceNow CMDB は、IT のレコードの 1 つのシステムを提供します。

(注) 統合フローと ServiceNow の例については、「ServiceNow Integration」を参照してください。

- [Cisco DNA Center REST API]: Cisco DNA Center でサポートされている REST API を含みます。この API は、ネットワークの知識のクエリ、およびネットワークプログラミングを開始するための豊富 な機能を提供しています。
- [Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)]: アシュアランスとメンテナンスの問題 に対応するためにネットワークを監視する Cisco DNA Center コンポーネントを含み、ServiceNow シ ステムにイベントの詳細を発行します。ネットワークの豊富なコンテキストデータにアクセスする API も含みます。
  - (注) 多数のネットワークイベント API が、[Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)] バンドルから [Cisco DNA Center REST API] バンドルに移行されています。旧 リリースでこれらのネットワーク API を使用している場合、このリリースでは動作しない ため注意が必要です。その場合は、[Cisco DNA Center REST API] バンドルで提供されてい る情報とサンプルを使用してネットワーク API を再設定する必要があります。[Cisco DNA Center REST API] バンドルに移行したネットワーク API は次のとおりです。
    - •問題エンリッチメントの詳細の取得
    - •ユーザエンリッチメントの詳細の取得
    - •デバイスエンリッチメントの詳細の取得
    - クライアントエンリッチメントの詳細の取得

これらの4つのAPIには、[Platform]>[Developer Toolkit]>[APIs]>[Know Your Network]の 順にクリックし、該当するサブドメイン([Devices]、[Clients]、[Users]、または[Issues])を クリックしてアクセスすることもできます。

- [SWIM Events for ITSM (ServiceNow)]: コンプライアンス、セキュリティ、またはその他の操作トリ ガーで、ServiceNow システムのソフトウェアイメージの更新が必要なイベントの監視と発行をしま す。
- •[SWIM Events for REST API Endpoint]: このバンドルはこのリリースで廃止され、今後のリリースから削除されます。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、GUI に表示されたバンドルを調整することができます。

ステップ3 [Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)] または [SWIM Events for ITSM (ServiceNow)] バンドルリンクまたはアイコンのいずれかをクリックします。

次の情報が表示されます。

- •[General information]:四角いアイコンの下に、ベンダー、バージョン、プラットフォーム、タグが 表示されます。
  - (注) タグは、どの Cisco DNA Center コンポーネントが使用され、バンドルによって影響を受け るかを示します。
- [Information]:一般的な情報(バンドルの目的、ネットワーク内のバンドルのしくみ)、サンプルス キーマ、マッピングメモ、設定メモ、およびバンドルに関するその他のデータを表示するタブです。

• [Contents]: バンドル内の統合フローに関する情報にアクセスするタブです。

• [Release Notes]: 自身のバージョンを含む、バンドルに関する最新のリリース情報を表示するタブです。

- **ステップ4** 上記の各タブをクリックし、バンドルに関する情報を確認します。
- **ステップ5** [Enable] ボタンをクリックしてバンドルを有効にします。 ウィンドウに [Information] フィールドが表示されます。
- **ステップ6** [nformation] フィールドで、[Enable] ボタンをクリックして、バンドルの有効化を確認します。 [Enable] ボタンをクリックして確認すると、成功メッセージが表示されます。
- **ステップ1** 成功メッセージの中の [Okay] をクリックします。
- **ステップ8** [Configure] ボタンをクリックして、バンドルレベルで設定します。
- **ステップ9** 設定slide-in paneで、[Destination to receive events] をクリックし、宛先インスタンスを設定します。 図 3:[Destination to receive events]設定フィールドの例

Cisco DNA Cente	er design policy provision	Configure Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)	
Overview Manag	ge 🗸 🛛 Developer Toolkit 🗸 🔹 Runtime Da	Gunngure your bandre	×
		> ServiceNow Access Settings	*
	Network Issue Monitor and I	✓ Destination to receive events	
N	You can use this bundle to monitor your netwo these issues to an ITSM(ServiceNow) system: if your network devices have not yet been sym activate the 'Basic ServiceNow CMDB synchro	This is used to specify the type of destination in ServiceNow to receive the events.         O Select an existing instance         Image: Comparison of the event of the	
Vendor Cisco Systems, Inc. Version	Information Contents Release Notes	INFORMATION	Î
1.0.21 Platform DNAC 1.2.5 +	The Network Issue Monitor and Enrichmen assurance and maintenance issues. The bur system.	Instance Name *	-11
Tags IT Event Network Management, ITSM	The event data can be published to the 'Eve ServiceNow instance, then the bundle can be	Description	- 11
Assurance, Enrichment	To view the list of Assurance issues that you Settings. In 'Event Settings', for each event, the DNA Center Assurance system, but can	DESTINATION TO RECEIVE EVENTS	•
	The 'Workflow' value determines the ITSM( ITSM(ServiceNow) system. This could confi-	4	*
	Note: This bundle also receives updates fro problem or request for change and populate	Cancel Activ	ate

- (注) REST API エンドポイントでネットワークイベントと SWIM イベントの詳細を受信し、Cisco DNA Center でユーザが選択した設定に基づいてインシデント、問題、または変更チケットを作 成するには、ServiceNow 用の [Destination to receive events] 設定オプションを使用します。 ServiceNow を使用してこれを設定する方法の詳細については、『Cisco DNA Center ITSM Integration Guide』を参照してください。
- **ステップ10** ラジオボタンをクリックして、既存の宛先インスタンスを設定するか、または新しいインスタンスを設定します。

既存の宛先インスタンスを設定するには、ウィンドウのドロップダウンメニューでインスタンスを選択し、[Activate]をクリックします。

ステップ11 新しい宛先インスタンスを設定するには、次の情報を追加入力する必要があります。

- [Instance Name]: インスタンスの名前。
- [Description]: インスタンスの説明テキスト。
- [Destination to receive events]: [Event Management] または [REST API Endpoint] を選択します。

[Event Management] は、ServiceNow で提供されるイベント管理プラグインを使用する場合に選択するオプションです。Cisco DNA Center と ServiceNowの統合の詳細については、このリリースの『Cisco DNA Center ITSM Integration Guide』を参照してください。

この情報を入力して、次のステップに進みます。

- ステップ12 [Activate] をクリックし、変更を保存してバンドルを有効化するか、[Cancel] をクリックして設定をキャンセルし、slide-in paneを閉じます。
  - (注) [Activate] をクリックすると、バンドルの変更が有効になり、変更は直ちに実施されます。さら に、バンドルのステータスは [ENABLED] から [ACTIVE] に変更されます。

#### 次のタスク

- ・設定を確認するには、[Manage] > [Configurations] > [General Settings] の順にクリックし、 [Filter] または[Find] ツールを使用して、この手順で設定された特定の宛先インスタンスを 探します。
- ・必要であれば、今後は、[General Settings] ウィンドウで、インスタンスの編集、更新、削除ができるようになります。詳細については、全般設定の設定:インスタンスの編集を参照してください。

## バンドルの設定:ServiceNowのアクセス設定

バンドル内のServiceNowのアクセス設定を設定するには、次の手順を実行します。CiscoDNA Center GUIの [Bundles] ウィンドウを使用して、バンドルの確認、有効化、および設定をする ことができます。 図 4: Cisco DNA Center プラットフォーム [Bundles] ウィンドウ

Cisco DNA Center DESIGN PA	DLICY PROVISION	ASSURANCE PLATFORM	₫	Q	Ш	¢	Ø	1
Overview Manage - Developer T	oolkit 🗸 🛛 Runtime	Dashboard						
Bundles								
∀ Filter					Q Find	d		
Bundle 🔺	Status	Description						
Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization Cisco Systems, Inc. v1.0.15   DN40 12.5 + Version Dated May 31, 2019	NEW	You can schedule a synchronization or trigger an update between the DNA Center device inventory and your ITSM(SenciceNow) configuration management database(DMDB). These activities integrate DNA Center processes into the IT System Management processes of incident, change and problem management. Note: If your network devices				Er	nable	
DNA Center REST API Cisco Systems, Inc. v1.0.48   DNAC 1.2.5 + Version Dated Jun 21, 2019	ACTIVE	This bundle contains the REST API supported by Clisco DNA Center. These REST APIs provide a rich set of capabilities, including the ability to discover network devices, query network health and provision network devices.						
Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow) Osco Systems, Inc. v1.0.21   DNAC 1.2.5 -	DISABLED	You can use this bundle to monitor your network for assurance and maintenance issues, and then publish the event details about these issues to an ITSM(SeniceNow) system. This bundle also contains APIs that extract rich network context data. Please note that, if your network devices have not yet been synchronized between				Er	nable	⊐ .
		Showing 5 of 5						

このリリースでは、次のバンドル内で ServiceNow のアクセス設定を設定します。

- [Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)]
- [SWIM Events for ITSM (ServiceNow)]

#### 始める前に

Cisco DNA Center リリース GA 1.3.3.0 へのインストールまたはアップグレードが完了している ことを確認します。最新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『*Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide*』を参照してください。

Cisco DNA Center を ServiceNow 統合に設定する際のより大きなワークフローにおけるこの手順の位置付けを理解するには、「Cisco DNA Center End-User Guides」Webページで最新の『Cisco DNA Center ITSM Integration Guide』を参照してください。

**ステップ1** Cisco DNA Center のホームページで、[Platform] > [Manage] > [Bundles] の順にクリックします。

ステップ2 表示されたバンドルとその現在のステータスを確認します。

このリリースでは、次のバンドルを使用できます。

- [Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization]: Cisco DNA Center のデバイスと ServiceNow<sup>®</sup> CMDB システムの間の同期をトリガーまたはスケジュールします。ServiceNow CMDB は、IT のレコードの 1 つのシステムを提供します。
  - (注) 統合フローと ServiceNow の例については、「ServiceNow Integration」を参照してください。

- [Cisco DNA Center REST API]: Cisco DNA Center でサポートされている REST API を含みます。この API は、ネットワークの知識のクエリ、およびネットワークプログラミングを開始するための豊富 な機能を提供しています。
- [Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)]: アシュアランスとメンテナンスの問題 に対応するためにネットワークを監視する Cisco DNA Center コンポーネントを含み、ServiceNow シ ステムにイベントの詳細を発行します。ネットワークの豊富なコンテキストデータにアクセスする API も含みます。
  - (注) 多数のネットワークイベント API が、[Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)] バンドルから [Cisco DNA Center REST API] バンドルに移行されています。旧 リリースでこれらのネットワーク API を使用している場合、このリリースでは動作しない ため注意が必要です。その場合は、[Cisco DNA Center REST API] バンドルで提供されてい る情報とサンプルを使用してネットワーク API を再設定する必要があります。[Cisco DNA Center REST API] バンドルに移行したネットワーク API は次のとおりです。
    - •問題エンリッチメントの詳細の取得
    - •ユーザエンリッチメントの詳細の取得
    - •デバイスエンリッチメントの詳細の取得
    - クライアントエンリッチメントの詳細の取得

これらの4つのAPIには、[Platform]>[Developer Toolkit]>[APIs]>[Know Your Network]の 順にクリックし、該当するサブドメイン([Devices]、[Clients]、[Users]、または[Issues])を クリックしてアクセスすることもできます。

- [SWIM Events for ITSM (ServiceNow)]: コンプライアンス、セキュリティ、またはその他の操作トリ ガーで、ServiceNow システムのソフトウェアイメージの更新が必要なイベントの監視と発行をしま す。
- •[SWIM Events for REST API Endpoint]: このバンドルはこのリリースで廃止され、今後のリリースから削除されます。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、GUI に表示されたバンドルを調整することができます。

ステップ3 [Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)] または [SWIM Events for ITSM (ServiceNow)] バンドルリンクまたはアイコンのいずれかをクリックします。

次の情報が表示されます。

- •[General information]:四角いアイコンの下に、ベンダー、バージョン、プラットフォーム、タグが 表示されます。
  - (注) タグは、どの Cisco DNA Center コンポーネントが使用され、バンドルによって影響を受け るかを示します。
- [Information]:一般的な情報(バンドルの目的、ネットワーク内のバンドルのしくみ)、サンプルス キーマ、マッピングメモ、設定メモ、およびバンドルに関するその他のデータを表示するタブです。

• [Contents]: バンドル内の統合フローに関する情報にアクセスするタブです。

• [Release Notes]: 自身のバージョンを含む、バンドルに関する最新のリリース情報を表示するタブです。

- ステップ4 上記の各タブをクリックし、バンドルに関する情報を確認します。
- **ステップ5** [Enable] ボタンをクリックして、リンクを有効化します。 ウィンドウに [Information] フィールドが表示されます。
- **ステップ6** [nformation] フィールドで、[Enable] ボタンをクリックして、バンドルの有効化を確認します。 [Enable] ボタンをクリックして確認すると、成功メッセージが表示されます。
- **ステップ1** 成功メッセージの中の [Okay] をクリックします。
- ステップ8 [Configure] ボタンをクリックして、バンドルレベルで設定します。
- **ステップ9** 設定slide-in paneで、[ServiceNow Access Settings]をクリックして、ServiceNow のインスタンスを設定しま す。
- **ステップ10** ラジオボタンをクリックして、既存のServiceNowのインスタンスを設定するか、または新しいインスタンスを設定します。

図 5: ServiceNow インスタンスの設定フィールドの例

Cisco DNA Cente	OF DESIGN POLICY PROVISION ASS	Configure Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)	
Overview Mana	ge 🗸 🛛 Developer Toolkit 🗸 🛛 Runtime Dasht	Connigure your ouncile	×
< Bundles		<ul> <li>ServiceNow Access Settings</li> </ul>	
	Network Issue Monitor and Enric	This is used to specify the connection settings to a ServiceNow instance	
	Retwork issue morntor and Erric	O Select an existing instance O Create a new Instance	
N	You can use this bundle to monitor your network for a an ITSM(ServiceNow) system. This bundle also cont not yet been synchronized between DNA Center and synchronization' bundle before activating this bundle	INFORMATION	Î
Vendor Cisco Systems, Inc.		Instance Name *	
	Information Contents Release Notes		
Version 1.2.0		Description	
	The Network Issue Monitor and Enrichment for		
Platform DNAC 1.2.5 +	maintenance issues. The bundle then publishes the		
-	The event data can be published to the 'Event' tabl	SERVICENOW ACCESS SETTINGS	
IT Event Network	instance, then the bundle can be configured to rece		
Management,	To view the list of Assurance issues that you may y		
ITSM, Assurance	'Event Settings', for each event, the values for 'Doi		
Enrichment	Assurance system, but can be changed by you.	> Destination to receive events	
	The 'Workflow' value determines the ITSM(Servic		
	system. This could configured as an Event; 'Incide		
	Note: This bundle also receives updates from the	Cancel	Activate

既存のServiceNowのインスタンスを設定するには、ウィンドウのドロップダウンメニューでインスタン スを選択し、[Activate] をクリックします。

ステップ11 新しい ServiceNow インスタンスを設定するには、次の情報を入力する必要があります。

- [Instance Name]: インスタンスの名前。
- [Description]: インスタンスの説明テキスト。
- •[Host name]: ServiceNow システムのホスト名。

• [Username]: ServiceNow システムへのアクセスに必要なユーザ名。

• [Password]: ServiceNow システムへのアクセスに必要なパスワード。

ステップ12 [Check Connectivity] をクリックして、エンドポイントが設置されたサーバへの接続が可能かどうかテストします。

サーバへの接続テストが成功したら、次の手順に進みます。

- ステップ13 [Activate] をクリックし、変更を保存してバンドルを有効化するか、[Cancel] をクリックして設定をキャンセルし、slide-in paneを閉じます。
  - (注) [Activate] をクリックすると、バンドルの変更が有効になり、変更は直ちに実施されます。さら に、バンドルのステータスは [ENABLED] から [ACTIVE] に変更されます。

#### 次のタスク

- ・設定を確認するには、[Manage] > [Configurations] > [General Settings] の順にクリックし、
   [Filter] または [Find] ツールを使用して、この手順で設定された ServiceNow インスタンス
   を探します。
- ・必要であれば、今後は、[General Settings] ウィンドウで、インスタンスの編集、更新、削除ができるようになります。詳細については、全般設定の設定:インスタンスの編集を参照してください。

### バンドルの設定:ServiceNowのCMDB データ同期

バンドル内の Cisco DNA Center と ServiceNow の間のデータ同期設定(動作や送信元の識別子 を設定するオプションなど)を設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Bundles] ウィンドウを使用して、バンドルの確認、有効化、および設定をすることができ ます。 図 6 : Cisco DNA Center プラットフォーム [Bundles] ウィンドウ

Cisco DNA Center DESIGN POLIC	Y PROVISION	ASSURANCE PLATFORM	∠10 Q III & © III
Overview Manage ~ Developer Too	olkit 🗸 🛛 Runtime Da	shboard	
Bundles			
∑ Filter			EQ Find
Bundle 🔺	Status	Description	
Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization Cisco Systems, Inc. v1.30   DNAC 1.2.5 + Version Dated Dec 20, 2019	ACTIVE	You can schedule a synchronization or Higger an update between Oisco DNA Center's device inventory and your (TSM(ServiceNox)) configuration management detabase(CMDB). These activities integrate Cisco DNA Center's processes into the IT System Management processes of incident, change or problem management. Note: If your network	Configure
DNA Center REST API Cisco Systems, inc. v1.3.0   DNAC 12.5 + Version Dated Dec 19, 2019	ACTIVE	This bundle contains the REST API supported by Cisco DNA Center. These REST APIs provide a rich set of capabilities, including the ability to discover network devices, query network health and provision network devices.	
Network Events for REST API Endpoint Gaso Systems, Inc. v1.2.0   DNAC 1.2.5 + Version Dated Aug 20, 2019	NEW	This bundle is deprecated from Release 1.3.1.0 and will be removed from the future releases. See Release Notes for more details.	Enable
		Showing 6 of 6	

このリリースでは、次のバンドルで ServiceNow に対してデータ同期を設定し、操作制限と識別子を設定します。

#### • [Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization]

#### 始める前に

Cisco DNA Center リリース GA 1.3.3.0 へのインストールまたはアップグレードが完了している ことを確認します。最新の Cisco DNA Center リリースのインストールについての詳細は、『Cisco Digital Network Architecture Center Installation Guide』を参照してください。

Cisco DNA Center を ServiceNow 統合に設定する際のより大きなワークフローにおけるこの手順の位置付けを理解するには、「Cisco DNA Center End-User Guides」Webページで最新の『Cisco DNA Center ITSM Integration Guide』を参照してください。

- **ステップ1** Cisco DNA Center のホームページで、[Platform] > [Manage] > [Bundles] の順にクリックします。
- **ステップ2** 表示されたバンドルとその現在のステータスを確認します。

このリリースでは、次のバンドルを使用できます。

- [Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization]: Cisco DNA Center のデバイスと ServiceNow<sup>®</sup> CMDB システムの間の同期をトリガーまたはスケジュールします。ServiceNow CMDBは、ITのレコードの 1つのシステムを提供します。
  - (注) 統合フローと ServiceNow の例については、「ServiceNow Integration」を参照してください。
- [Cisco DNA Center REST API]: Cisco DNA Center でサポートされている REST API を含みます。この API は、ネットワークの知識のクエリ、およびネットワークプログラミングを開始するための豊富 な機能を提供しています。

- [Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)]: アシュアランスとメンテナンスの問題 に対応するためにネットワークを監視する Cisco DNA Center コンポーネントを含み、ServiceNow シ ステムにイベントの詳細を発行します。ネットワークの豊富なコンテキストデータにアクセスする API も含みます。
  - (注) 多数のネットワークイベント API が、[Network Issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow)] バンドルから [Cisco DNA Center REST API] バンドルに移行されています。旧 リリースでこれらのネットワーク API を使用している場合、このリリースでは動作しない ため注意が必要です。その場合は、[Cisco DNA Center REST API] バンドルで提供されてい る情報とサンプルを使用してネットワーク API を再設定する必要があります。[Cisco DNA Center REST API] バンドルに移行したネットワーク API は次のとおりです。
    - •問題エンリッチメントの詳細の取得
    - •ユーザエンリッチメントの詳細の取得
    - •デバイスエンリッチメントの詳細の取得
    - クライアントエンリッチメントの詳細の取得

これらの4つのAPIには、[Platform]>[Developer Toolkit]>[APIs]>[Know Your Network]の 順にクリックし、該当するサブドメイン([Devices]、[Clients]、[Users]、または[Issues])を クリックしてアクセスすることもできます。

- [SWIM Events for ITSM (ServiceNow)]: コンプライアンス、セキュリティ、またはその他の操作トリ ガーで、ServiceNow システムのソフトウェアイメージの更新が必要なイベントの監視と発行をしま す。
- •[SWIM Events for REST API Endpoint]: このバンドルはこのリリースで廃止され、今後のリリースから削除されます。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、GUI に表示されたバンドルを調整することができます。

- **ステップ3** [Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization] バンドルリンクまたはアイコンをクリックします。 次の情報が表示されます。
  - •[General information]:四角いアイコンの下に、ベンダー、バージョン、プラットフォーム、タグが 表示されます。
    - (注) タグは、どの Cisco DNA Center コンポーネントが使用され、バンドルによって影響を受け るかを示します。
  - [Information]:一般的な情報(バンドルの目的、ネットワーク内のバンドルのしくみ)、サンプルス キーマ、マッピングメモ、設定メモ、およびバンドルに関するその他のデータを表示するタブです。
  - •[Contents]:バンドルを構成する統合フローにアクセスするか、バンドルを構成する統合フローに関する情報を提供するタブ。

• [Release Notes]: 自身のバージョンを含む、バンドルに関する最新のリリース情報を表示するタブです。

- **ステップ4** [Information] タブでバンドルデータを確認し、[Contents] タブをクリックします。
- ステップ5 [Integration Flows] ヘッダーをクリックします。
   ヘッダーの下で使用可能な統合フロー(リンク)のリストの確認に進みます。統合フローとその目的の
   詳細については、統合フローの使用を参照してください。
- **ステップ6** [Enable] ボタンをクリックして、リンクを有効化します。 ウィンドウに [Information] フィールドが表示されます。
- **ステップ7** [nformation] フィールドで、[Enable] ボタンをクリックして、バンドルの有効化を確認します。 [Enable] ボタンをクリックして確認すると、成功メッセージが表示されます。
- ステップ8 成功メッセージの中の [Okay] をクリックします。
- **ステップ9** 統合フローのリンクをクリックして、下記のタスクを実行します。
  - [Description]、[Tags]、[How to Use this Flow]、およびスケジューラを確認します。
  - [Recurring] のスケジューラオプションを確認します。

繰り返しの間隔(日ごとまたは週ごと)、実行間隔、タイムゾーン、開始日および終了日を設定で きます。

- 重要 次の手順に従い、バンドル自体の設定が完了した後にのみ、統合フローのスケジュールを 設定および有効化します。統合フローのスケジュールを設定して有効にするには、この ビューに戻って [Schedule] をクリックするか、[Configure Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization] slide-in paneの[View Flows] リンクをクリックするか(以下の手順を参照)、 または Cisco DNA Center プラットフォームメニューバーからビューにアクセスして [Developer Toolkit] > [Integration Flows] > [Schedule to Publish Inventory Details-ServiceNow Connector] を クリックします。
- **ステップ10** ウィンドウの右上にある [X] アイコンをクリックして閉じ、前のバンドルウィンドウに戻ります。

**ステップ11** [Configure] ボタンをクリックして、バンドルレベルで設定します。 設定slide-in paneが表示されます。CMDB 同期情報の確認に進みます。

**ステップ12** ラジオボタンをクリックして、既存の宛先インスタンスを設定するか、またはCMDB 同期の新しいイン スタンスを設定します。



図 7: [CMDB Synchronization Instance Configuration Fields] ウィンドウ

既存のインスタンスを設定するには、ウィンドウのドロップダウンメニューでインスタンスを選択し、 [Configure] をクリックします。

- **ステップ13**新しいインスタンスを設定するには、次の情報を入力する必要があります。
  - [Instance Name]: インスタンスの名前。
  - [Description]: インスタンスの説明テキスト。

[Next]をクリックして続行します。

- **ステップ14** [Select Destination] ウィンドウで、次の情報を入力します。
  - •[Enter Discovery Source]:次の2つの検出ソースオプションから選択できます。
    - [Synchronize device inventory directly with CMDB]
    - [Post device inventory details to a staging table]
    - (注) ステージングテーブルを使用すると、テーブルから値を取得して ServiceNow CMDB にマッ ピングできます。
  - [Destination Domain] : ServiceNow サーバ (CMDB) またはステージングテーブルのドメイン。
  - [Destination URL] : ServiceNow サーバ (CMDB) またはステージングテーブルの URL。
  - •[Username]: ServiceNow サーバへのアクセスに必要なユーザ名。
  - [Password]: ServiceNow サーバへのアクセスに必要なパスワード。

#### 図 8: [Select Destination] ウィンドウ

Cisco DNA Cente	OF DESIGN POLICY PROVISION ASSURANCE	Configure Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization	
Overview Manag	ge 🗸 🛛 Developer Toolkit 🗸 🔹 Runtime Dashboard	Configure your bundle	×
		Select Destination	
	Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchro		
R		Enter Discovery Source *	
	You can schedule a synchronization or trigger an update between 0 database(CMDB). These activities integrate Cisco DNA Center's pr your network devices have not been synchronized between Cisco I Cisco DNA Center platform. Otherwise, further bundle integrations	Destination Domain *	
Vendor Cisco Systems, Inc. Version	Information Contents Release Notes	Destination Uri *	
1.2.3 Platform DNAC 1.2.5 +	This Basic ITSM(ServiceNow) CMDB Synchronization bundle recurring schedule to your ITSM(ServiceNow) CMDB system. Th If there is already a Configuration Item (CI) on the ITSM(Service	Username *	
Tags Device Discovery, CMDB Syncronization	as a duplicate in the response. Any updated information for a CI existing ITSM(ServiceNow) tool.	Password *	
		Check connectivity	
	The following data is synchronized between Cisco DNA Center's		
	Mandatory Attributes:		
	Host Name		
	Serial Number		
	Device Id		
	Device Family		~
	Mac Address	1 Exit	
	<ul> <li>Management IP address</li> </ul>		

**ステップ15** [Check Connectivity] をクリックして、Cisco DNA Center とデータ同期の接続先の間に接続が存在すること を確認します。

Cisco DNA Center から接続チェック成功の確認([Connection Established])を受信したら、[Next]をクリックします。

- ステップ16 [Select Inventory Data Fields] ウィンドウで、同期するインベントリ データ フィールドを選択します。
  - (注) インベントリデータフィールドは、CMDBまたはステージングテーブルに同期される属性また は参照として指定できる、シスコが作成したデータタイプです。

[Select Inventory Data Fields] ウィンドウの上部のチェックボックスをクリックすると、同期するすべての インベントリデータフィールドが選択されます。すべてのインベントリデータフィールドを同期する 場合は、この上部のチェックボックスをクリックします。すべてを同期しない場合は、一度に1つの チェックボックスを確認してクリックし、同期するインベントリデータフィールドの小さなサブセット を作成します。 図 9: [Select Inventory Data Fields] ウィンドウ

Cisco DNA Center Design	POLICY PROVISION ASS In Toolkit ~ Runtime Dasht	Cont	nfigure Basic ITSN Igure your bundle	// (ServiceNow) CMDB synchronizatio	n	
Bundles		Se	lect Inventory Da	ata Fields		
∑ Filter			Name	Description	Is Attribute / Is I	terence
Bundle +	Status		Nost Name	Hostname of the device	Attribute	O Reference
Basic ITSM (ServiceNow) CMDB			MAC Address	MAC Address of the Device	Attribute	O Reference
B Cisco systems inc. of 0.6 1, DNAC 1,2 5 -	ENABLED		Device Id	Id of the Device	<ul> <li>Attribute</li> </ul>	O Reference
		2	IP Addreen	Management IP Address of the cavice		() Reference
DNA Center REST API		Ø	Seriel Nember	Seria Number of the device	Attribute	O Reference
P v1.2.4   DNAC 5.2.5 +	ACTIVE		Upgrade Failure Roason	Upgrade Falure Reason	🕢 Attribute	
			CurrentSMU Upgrade Date	CurrentSMU Upgrade Date	<ul> <li>Atabute</li> </ul>	🔿 Reference
Network issue Mondor and Enrichme ITSM (ServiceNow)			CorrentSMU	CurrentSMU	Attribute	O Reference
VI23   DNAC 125 -			Prior Upgrade Date	Prior Upgrade Date	() Attribute	() Reference
			Code Upgrade Date	Costo Upgrade Date	<ul> <li>Attribute</li> </ul>	O Reference
SWIM Events for (TSM (ServiceNow) Daco Systems, Inc.			Building	Building	🔿 Attribute.	( Reference
VERICE Devel Sep 18, 2019			Location	Location ID that is associated with the device(City/Building/Floor)	() Attribute	(a) Reference
SWIM Events for REST API Endpoint			Time Since Code Upgrade	Time since last code upgrade happened	Atabute	
Coce Systems, inc			Porta	ports	() Attribute	Reference

[Select Inventory Data Fields] ウィンドウは、次の列で構成されています。

- [Name]: インベントリ データ フィールドの名前。
- [Description]: インベントリデータフィールドの簡単な説明。
- [Is Attribute/Is Reference]: インベントリデータフィールドが属性または参照のどちらであるか。参照データフィールドは、データベース内の2つのテーブル間の関係を作成するために使用されます。 属性データフィールドは、データベースのテーブルにデータを追加するために使用されます。
- **ステップ17** 前のステップで同期対象として選択したデータフィールドについて、デフォルトが属性または参照のどちらで設定されているか確認します。

データフィールドのデフォルトの設定を変更するには、目的のデータフィールドの設定([Attribute]または Reference])をクリックします。

同期するデータフィールドと、データフィールドを属性または参照のどちらにするか選択したら、[Next] をクリックして続行します。

**ステップ18** [Update Transforms] ウィンドウで、Cisco DNA Center デバイスファミリと ServiceNow CI クラス間の ServiceNow 変換マッピングを受け入れるか、更新します。

図 10: [Update Transforms] ウィンドウ

Cisco DNA Center	DESIGN POLICY PROVISION	ASSU Configure Configure your b	Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchroniza	ation		×
Bundles		Update T	ransforms			
√ Filter		Device Family	CI Class			*
Bundle +	Status	C Routers	cmdb_ci_ip_router			
Basic ITSM (Servic synchronization Cisco Systems, Inc. v1.3.0   DNAC 1.2.5 Version Dated Dec 20	eNow) CMDB ACTIVE .2019	Y c Switches and Hubs P	cmdb_cl_jp_switch			
DNA Center REST Osco Systems, inc. v1.3.0   DNAC 1.2.5 Version Dated Dec 19	API , ACTIVE ,2019	T e				
Network Events for Ceco Systems, Inc. v1 2.0   DNAC 1.2.5 Version Dated Aug 20	REST API Endpoint . NEW 2019	7				
		C Exit			Back	Next

デバイスファミリは Cisco DNA Center デバイスの分類(ユニファイド AP、ルータ、ワイヤレスコント ローラ、スイッチ、ハブなど)であり、ServiceNow へのインベントリ属性/参照マッピングは ServiceNow の既存の Cisco DNA Center アプリケーションですでに使用できます。デバイスファミリのタイプと数は、 ユーザのネットワーク内のシスコデバイスによって異なります。

(注) Cisco DNA Center プラットフォームは、ユーザの Cisco DNA Center ネットワーク内のすべての デバイスファミリを自動的に取得し、この GUI ウィンドウに表示できます。

CI クラスは ServiceNow のデータベーステーブルです(cmdb\_ci\_wap\_network、cmdb\_ci\_ip\_router、 cmdb\_ci\_ip\_switch、x\_caci\_cisco\_dna\_wireless\_lan\_controller など)。上記の GUI ウィンドウの [CI Class] 列は、CI クラスをそれぞれのデバイスファミリにマッピングするために使用されます。

次の表に、Cisco DNA Center のデフォルトの CI クラスをデバイスファミリごとに示します。デフォルト のCI クラスは、ユーザが変更できます。以下にリストされていない他のデバイスファミリの場合、シス コでは [CI Class] 列にデフォルト値を示しません。ServiceNow アプリケーションユーザは、対応する CI クラスおよび属性/参照マッピングを手動で作成するか、既存の CI クラスを「親」CI クラスとして使用 する必要があります。

デバイス ファミリ	対応する <b>CI</b> クラス
ユニファイド AP	cmdb_ci_wap_network
ワイヤレス コントローラ	x_caci_cisco_dna_wireless_lan_controller
ルータ	cmdb_ci_ip_router
スイッチおよびハブ	cmdb_ci_ip_switch
Meraki アクセスポイント	cmdb_ci_wap_network

表 1: デフォルトのデバイスファミリから Clクラスへのマッピングリスト

デバイス ファミリ	対応する CI クラス
Meraki カメラ	cmdb_ci_netgear
Meraki ダッシュボード	cmdb_ci_netgear
Meraki MX セキュリティアプライアンス	cmdb_ci_netgear
Meraki スイッチ	cmdb_ci_ip_switch

このウィンドウの情報を受け入れるか、更新したら、[Next] をクリックします。

ステップ19 [Set Source Identifier and Operational Limit] ウィンドウで、データソースと最大制限を設定します。 図11: [Set Source Identifier and Operational Limit]ウィンドウ

Cisco Overvie	DNA Center DESIGN POLICY w Manage - Developer Toolki	PROVISION ASSU	Configure Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization
Bundle	S		Set Source Identifier and Operational Limit
√ Filter			Enter Discovery Source * Other Automated Y
Bundle *		Status	Enter Max Lind * 1000
В	synchronization Ceco Systems Inc. v1 2,6   DNAC 1,2 5 + Versice Detect Sep 17, 2019	ENABLED	
D	DNA Center REST API Onco Systems, Inc. vi 2.4   DNAC 1.2.5 + venicin Dated Sep 9, 2019	ACTIVE	
N	Network issue Monitor and Enrichment for ITSM (ServiceNow) Osciologytems in: v1.3.1 UNAC 12.5 - Version Dated Sep 16, 2019	NEW	
s	SWIM Events for ITSM (ServiceNow) Oxoo Systems, Inc.	NEW	

次の値を設定します。

- [Enter Discovery Source]: 以前に選択した値と同じ値を入力するか、デフォルトの [Other Automated] のままにします。
  - [Synchronize device inventory directly with CMDB]
  - [Post device inventory details to a staging table]
  - (注) [Other Automated] は、OOB ServiceNow インスタンスの検出リソース属性の事前設定値で す。これは、ServiceNow CI が検出されたデータソースを示す値です。デフォルトで、シス コは既存の事前設定値の1つを統合に使用します。
- •[Enter Max Limit]:反復(単一の API コール)で同期できるデバイスの最大数。

上記の情報を入力したら、[Next]をクリックします。

ステップ20 [Summary] ウィンドウで、設定の概要を確認します。

図 12: [Summary] ウィンドウ



情報を確認した後、[Configure] をクリックします。 設定が正常に完了すると、「Done!Bundle Configured」メッセージが表示されます。

#### 次のタスク

上記のステップ9で説明されているいずれかの方法を使用して、このバンドル([Schedule to Publish Inventory Details - ServiceNow Connector])の統合フローを設定します。

設定を確認して、[Manage] > [Configurations] > [General Settings] の順にクリックし、[Filter] ま たは [Find] ツールを使用して、この手順で設定されたインスタンスを探します。必要であれ ば、今後は、[General Settings] ウィンドウで、インスタンスの編集、更新、削除ができるよう になります。詳細については、全般設定の設定:インスタンスの編集を参照してください。

次のタスクを実行して、CMDBの同期をテストできます。

- Cisco DNA Center プラットフォームの GUI で、[Platform] > [Runtime] > [Event Summary] の 順にクリックします。GUIビューをリフレッシュするには、[Refresh]をクリックします。 ウィンドウの個々のイベントをクリックして、イベントデータを表示し、ServiceNowへの リンクにアクセスします。
- ServiceNowに移動し、同期されたデバイスを検索します。そのデバイスのレコードの同期 されたデータの [Configuration] タブと [Other Attributes] タブを確認します。